

すべての人にやさしい町へ

プロのランナーとして世界中の町を訪ねた経験と地域振興に取り組んだ経験からまちづくりを変えます！



防災への取り組み

定期的な山道整備を行い、防災活動にも取り組んでいます。



活動実績

2018年 17回
2019年 18回
2020年 21回
2021年 22回



山道の整備維持は、いざという時の命を守ります。

- ①防災路として
- ②生活道路として
- ③遊び場として

日常的な利用を促す事が地域コミュニティ作りにも役立ちまちづくりにも生きてきます。

待機児童をゼロにします！

子育て支援推進は全世代の支援と町の成長に直結します。

子育て支援を旗印に掲げ、転入者が途絶えず税収が急増している自治体があります。兵庫県の明石市と千葉県の流山市です。流山市では保育所は100件に達しコンビニよりも多く、明石市は子どもを支えることは町の未来につながるとして最重要政策として取り組み続けています。

人口増加→賑わいが生まれる→財源確保→市民サービス向上→安心して暮らせる町

その結果好循環が生まれ、成長を続けています。海と山に囲まれ、都心へのアクセスも良い逗子で、子育てをしやすくすみ続けたい環境をぜひ一緒に実現しましょう。

1

保育園を増やす

空き家活用の促進と
保育園開設への助成

2

保育士待遇改善

独自の助成で多様な人材確保
と働きがいを

3

財源確保

移住促進による住民税
リモートや起業による法人税



<https://linktr.ee/FUJIONIYACHI>から各SNSやwebsiteをご覧いただけます。
ぜひフォローもお願いします！



市民の「こうだったらいいのにな」という思いの窓口になります。

1.安心して子育ての出来る町へ

→思い立ったら子供を預けられるよう保育所の充実をし
起業や復職を支援。空き家活用などで待機児童解消を！

2.小学生の放課後の居場所の確保

→公民館などの活用と二重行政を解消し居場所確保。

3.防災への取り組み

→防災路整備と町内会など地域コミュニティ強化

4.歩きやすく、自転車も利用しやすい道の実現

→登下校路の安全、バリアフリー推進、自転車通行帯の充実

5.逗子駅前ロータリー混雑の解消

→渋滞対策と逗子駅西口のエレベータ設置で利便性向上を！

6.逗子の自然環境を大切に文化・スポーツ活動の推進

→山の魅力を活かし来訪者を増やし東逗子エリア活性化

7.「海の町」改め「海と山の町」としてPRを！

→環境の良さを全面に出して移住促進と税収確保

◎これらに加え

- ・医療、福祉、介護の連携と健康増進のための取り組み
- ・住民票取得など行政手続きのオンライン化と簡素化
必要な方には対面でフォローをし利用者目線のサービスを！
- ・地域での消費を促進し、逗子のお店を応援！
→など、多面的な取り組みで逗子の町と市民を支えます！



子ども政策推進は町を支える！

第1子が生まれた時、保育所(以下、保育園)に1次申し込みで落選。繰上げでどうにか入園。第2子が生まれた際も、保育園の入園にとっても苦労しました。点数制、膨大で複雑な申請書類、毎年のように変わる評価制度…。逗子市は待機児童がこの4年間全く減っていません。働きながら子育てをしたいと思って逗子では困難なのが現状です。自営業でも、リモートワークでも、起業したい人も、子育てしながら復職をしたい人でも預けることができる。これが本来の保育園の役割ではないでしょうか？待機児童問題の解決は働きやすく子育てしやすい町の実現には欠かせません。

皆さんとともに社会課題を解決し、

住み続けたい町逗子を実現するために走り回ります！



逗子市久木在住。

妻と息子(3歳)、娘(1歳)と4人暮らし

みやちふじおプロフィール (マウンテンランニング元日本代表)

逗子での活動：山道の保全や整備維持活動を2016年から継続。

2017年からは市民協働事業として逗子市と連携して活動など山を切り口に逗子の魅力を発信し続ける。毎年開催しているジュニアトレイルランでは毎回数百名の参加者が各地から集まるなど地域振興とアウトドアスポーツ普及啓発に貢献。

2021年「逗子市におけるトレイルランニングを通じた多様な活動」が評価され、**観光庁長官賞受賞**(タウンニュース新年号に掲載)。

資格：中学社会・高校地歴公民教員免許、日本陸連公認ジュニアコーチ、日本スポーツ協会公認スポーツリーダー

◎逗子市トレイルランニング協会、RUNNING ZUSHI、ZUSHI TRAIL WORKS 代表

